

(案)

第五次国有林野施業実施計画
第三次変更計画書

(上川北部森林計画区)

計画期間 (自 平成30年4月 1日)
 (至 平成35年3月31日)

策 定 年 月 日 : 平成30年3月28日
第一次変更年月日 : 令和 2年3月30日
第二次変更年月日 : 令和 3年3月30日
第三次変更年月日 : 令和 4年 月 日

北海道森林管理局

上川北部森林計画区の第五次国有林野施業実施計画の変更について

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき変更する。

- 1 国有林野管理経営規程の運用について（11林野経第3号林野庁長官通達）の一部改正に伴い施業群名を変更する。
- 2 保安林機能の回復に必要な治山事業を追加のため、治山に係る計画を変更する。

本変更計画は、令和4年4月1日から適用する。

【変更項目及び頁】

- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量
 - (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等 (1) 1
 - (3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積 (2) 3
 - (4) 伐採総量 〈施実変更2〉 3
- 4 治山に関する事項 (施実変更2) 5

注：1 ()書きは、上川北部森林計画区の第五次国有林野施業実施計画書、〈 〉書きは第二次変更計画書の頁である。

2 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、下線部が変更等の箇所である。

3 各表の数値の計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

【現行計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	1,404	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	-	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	2,627	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	20,869	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	58,235	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	16,725	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
その他施業群	-	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。		
合計	99,860			

注1) 林地面積の集計である。

注2) 計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【変更計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群	面積	取扱いの内容		伐期齢又は回帰年	
		細分		樹種	
通常伐期	1,404	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】		トドマツ	65年
				アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
				カラマツ ・グイマツ	50年
				スギ	65年
				その他針葉樹	60年
長伐期	-	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】		トドマツ	100年
				アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
				カラマツ ・グイマツ	80年
				スギ	100年
				その他針葉樹	90年
複層林	23,496	複層林施業	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
				アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
				カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
				スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
				その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
天然林 ・その他	74,960	育成天然林施業	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
		天然生林施業	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
		その他	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。	個別に定める。	
合計	99,860				

注1) 林地面積の集計である。

注2) 計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【現行計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林	その他
上限伐採面積	109	-	473	3,478	9,706	2,788	-

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	1,934	(898) 40,247	42,181				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	(121) 8,108	8,108				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(336) 19,872	15,957	35,829			
	長期単層林	-	-	-			
	複層林	9,860	(760) 43,220	53,080			
	混交林	6,407	(3,173) 146,239	152,646			
	育成天然林	-	(13) 579	579			
	天然生林	-	-	-			
	その他	-	-	-			
	計	36,139	(4,282) 205,995	242,134			
合 計	38,073	(5,302) 254,350	292,423	70,000	362,423	-	362,423
年 平 均	6,218	(1,131) 52,483	58,701	14,000	72,701	-	72,701

注) 上段 () は、間伐面積である。

【変更計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	通常伐期	長伐期	複層林	天然林・その他
上限伐採面積	109	-	3,951	12,494

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	1,934	(898) 40,247	42,181				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	(121) 8,108	8,108				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	通常伐期	(336) 19,872	15,957	35,829			
	長伐期	-	-	-			
	複層林	(3,933) 16,267	189,459	205,726			
	天然林・その他	(13) -	579	579			
	計	(4,282) 36,139	205,995	242,134			
合 計	38,073	(5,302) 254,350	292,423	70,000	362,423	-	362,423
年 平 均	6,218	(1,131) 52,483	58,701	14,000	72,701	-	72,701

注) 上段 () は、間伐面積である。

【現行計画】

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計画量	備考
上川北部森林管理署				
茂志利二の沢地区 2107林班	保全施設	溪間工	1箇所	士別市
奥沢川地区 2213, 2214林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
上毛無地区 2014林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
ペンケヌカンプ川地区 2217林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
竹藤の沢地区 2401林班	保全施設	溪間工	1箇所	士別市
名寄川支流ホロナイップ川地区 247, 251林班	保全施設	溪間工	2箇所	下川町
名寄川支流カジカ沢地区 263, 269林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
名寄川ニオイ沢地区 270, 283林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
名寄川支流小屋の沢地区 275, 283林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
名寄川支流コロウシ沢地区 289, 296林班	保全施設	溪間工	2箇所	〃
名寄川支流上立山沢地区 263林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
シカリベツ川地区 226, 228林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
モサンル川支流小滝の沢地区 209林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
コッチラホチナイ沢地区 1085林班	保全施設	溪間工	1箇所	中川町
登和里地区 2023林班	保全施設	山腹工	1箇所	士別市
上士別・多寄地区 2403～2406林班	保安林の整備	植栽工	18 ha	士別市
上士別・多寄地区 2403～2406林班	保安林の整備	本数調整伐	18 ha	〃
東風連地区 1144林班	保安林の整備	植栽工	66 ha	名寄市
東風連地区 1144林班	保安林の整備	本数調整伐	66 ha	〃
落合沢上流地区 106林班	保安林の整備	植栽工	2 ha	下川町
上川北部森林管理署計	保全施設	溪間工	16箇所	
		山腹工	1箇所	
		計	17箇所	
	保安林の整備	植栽工	86 ha	
		本数調整伐	84 ha	
		計	170 ha	
森林計画区合計	保全施設	溪間工	16箇所	
		山腹工	1箇所	
		計	17箇所	
	保安林の整備	植栽工	86 ha	
		本数調整伐	84 ha	
		計	170 ha	

【変更計画】

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計画量	備考
上川北部森林管理署				
茂志利二の沢地区 2107林班	保全施設	溪間工	1箇所	士別市
奥沢川地区 2213, 2214林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
上毛無地区 2014林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
ペンケヌカンプ川地区 2217林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
竹藤の沢地区 2401林班	保全施設	溪間工	1箇所	士別市
名寄川支流カジカ沢地区 263, 269林班	保全施設	溪間工	1箇所	下川町
名寄川二オイ沢地区 270, 283林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
名寄川支流小屋の沢地区 275, 283林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
名寄川支流上立山沢地区 263林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
シカリベツ川地区 226, 228林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
モサンル川支流小滝の沢地区 209林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
名寄川鳥居沢地区 299, 301林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
コッチラホチナイ沢地区 1085林班	保全施設	溪間工	1箇所	中川町
登和里地区 2023林班	保全施設	山腹工	1箇所	士別市
上士別・多寄地区 2403~2406林班	保安林の整備	植栽工	18 ha	士別市
上士別・多寄地区 2403~2406林班	保安林の整備	本数調整伐	18 ha	〃
東風連地区 1144林班	保安林の整備	植栽工	66 ha	名寄市
東風連地区 1144林班	保安林の整備	本数調整伐	66 ha	〃
落合沢上流地区 106林班	保安林の整備	植栽工	2 ha	下川町
上川北部森林管理署計	保全施設	溪間工	13箇所	
		山腹工	1箇所	
		計	14箇所	
	保安林の整備	植栽工	86 ha	
		本数調整伐	84 ha	
		計	170 ha	
森林計画区合計	保全施設	溪間工	13箇所	
		山腹工	1箇所	
		計	14箇所	
	保安林の整備	植栽工	86 ha	
		本数調整伐	84 ha	
		計	170 ha	